

# 校長室だより



令和3年7月16日

No.13

日中の気温が30℃を超える日が普通になってきました。昼食時には養護教諭が「今の熱中症指数は…」と放送して注意を促しています。青空が夏色になり雲も夏の雲になってきて、気分はわくわくしてきますが、一方で体調管理にも気をつけたい季節です。

来週21日からいよいよ夏休みです。まん延防止措置や緊急事態宣言下でまだまだ心おきなくと言える状況ではありませんが、感染防止対策等に十分配慮して可能な範囲で夏を楽しめるといいですね。夏休み中にはオリンピック・パラリンピックも開催予定です。きっと中嶋はテレビの前から動かないまま…いやいや、それではいけませんね。

さて、ここでお知らせがあります。玄関前の広場の中心に大きなケヤキの木があります。おそらく学校ができたときに植えられたものかと思いますが、見上げると大空いっぱい枝葉が広がるような大木になっています。きっとこの地で長い年月、数えきれないくらい多くの子どもたちを見守ってきてくれた、学校のシンボルとも言える存在だと思います。しかし、ここまで大きくなってしまうと、落葉も大変で、現在も雨水排水の樋がつまったりすることもあります。また、台風や豪雨で枝や幹が折れる危険性も専門家より指摘され、児童生徒の安全面から早急な対応が求められていました。さらに、万が一の落雷などがあった場合、学校や近隣への延焼などにもつながりかねないということで、校長責任として木の伐採、倒木を指示し、夏休み期間中に行われることとなりました。

学校のシンボリックな大切な木であることは十分理解していますし、この木が本郷の子どもたちを育ててきてくれたことへの大きな感謝の気持ちもあります。しかし、それにしても大きくなりすぎて、しかも、この大きさで止まっているわけでもありません。今後先送りしても状況に変わりはありません。何より、考えられる危険性をそのままにしておくことはできません。前任校でも中庭にかつて大きな木がありましたが、教室が暗くなってしまうという弊害があり、だいぶ前に切り倒したという話を聞きました。「大胆なことをする校長がいたもんだ」と笑っていましたが、自分がその立場になろうとは思ってもよらず…。後世において「大事な木を切ったあきれた校長」と悪口を言われるのも仕方ないと思います。

実は私自身、この木が大好きで、他校に転勤した際、この木の写真を撮って行ってパソコンの壁紙に使っていたこともあったくらいです。なので、その気持ちや感謝を込めて、せめて私の指示でということにさせていただきました。もちろん、たくさんの写真をとって、たくさんの「ありがとう」の気持ちを伝えてからと思っています。皆さんもお時間があって学校に寄られることがあるようでしたら、最後にもう一度ご覧いただき一声おかけいただければ幸いです。難しいようでしたらお気持ちだけでもお願いできればと思います。



※4月より本校教育活動に多くのご理解とご協力をいただきありがとうございました。夏休みもお変わりなくお過ごしください。